

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>パーフェクトスウィング</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.480</b>	△RG <b>0.048</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：パーフェクトスウィング**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

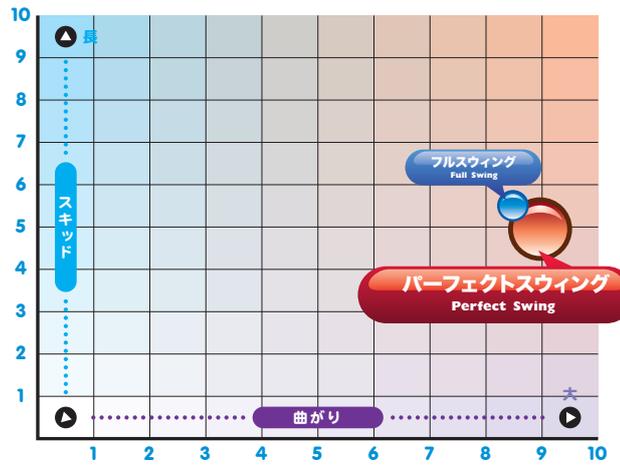
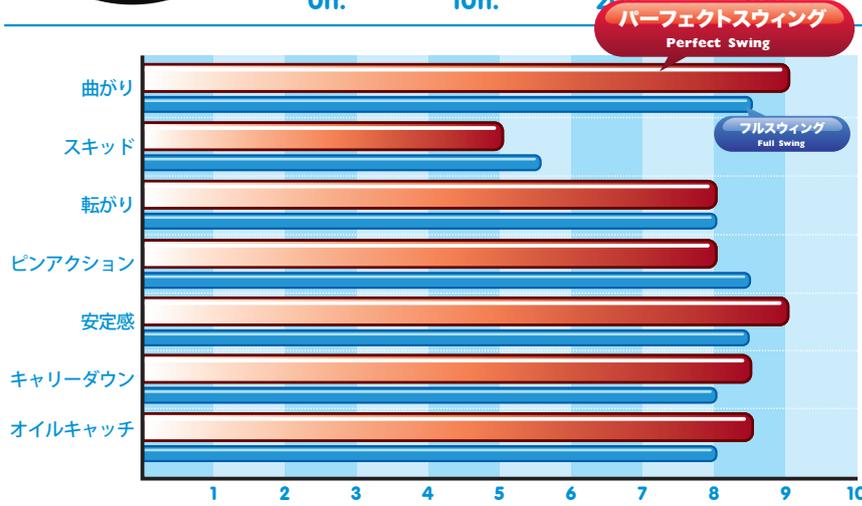
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤 番

**比較対照ボール：フルスウィング**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤 番



### ボールの評価

スウィングシリーズも第5弾。初代スウィングからフルスウィングまで、発売された全てのボールが優勝を成し遂げるという快挙を続けられているシリーズはすでに”優勝請負ボール”として確固たる地位を築き上げ、ABSはその快挙を成し遂げ続けられるボールとして今回このパーフェクトスウィングをリリース致します。

スウィングシリーズをスキッドする順に配列すると、パワースウィング>フルスウィング>パーフェクトスウィング>スパーズスウィング>スウィングの順になり、我々がこのパーフェクトスウィングに求めたものは、前作フルスウィングよりスキッドを短くし、シリーズ中ちょうど中間のスキッド力でありながら曲がり始めの”プレーキ度”を強めること。所謂スキッド感を確保しながらキャッチ力の強さを出し、強いトルクのある曲がり仕上げることで。

リアクションイメージはフルスウィングのフリップ状の動きではなく、スパーズスウィングにみる起き上がりから強いリアクションタイプ。手前から良く転がり、キャッチしながらスキッドするイメージはミッドエリアでの動きの安定に繋がり、初代スウィングの「sweet spot」をやや遅らせた曲がりのイメージをもって頂けるでしょう。開発コンセプトとしてスウィングシリーズの中間のスキッド能力を持ちますが、レポートリーとの組み合わせで#2000、#1000と表面加工を施し、自分にあったスキッドを確保してその差を作ってください。

テスト段階で満場一致の「性能折り紙つき」のパーフェクトスウィング。

「完璧」なまでの仕上がりはきっと”優勝請負ボール”として伝説の1ページに加わるボールとなるでしょう。

### 特記事項

**モーメントムスウィングの性能を受け継ぎ、扱い易さとやや先での「sweet spot」を求めたスウィングシリーズ中間のスキッド性能です。**